



朝の10分間は本の世界へ小旅行。  
みんな集中する時間です。



一昨年から始まった、きんもくせいの会(代表安河内浩子さん)による桂川小学校でのお話会。児童からの評判も良く、現在は全学年対象に、月1回のペースで行われています。

お話会の後には「次はどんな絵本を読もうかな」と、打ち合わせにも顔がほころびます。



自分の孫と触れ合うように  
安全を見守る



退職された団塊世代の方々と結成された「孫を守る会」は、桂川小学校の児童と一緒に登校して安全を見守っています。会の皆さんは、車の運転手がすぐに気づくために、目立つ服装をしています。そして何より、通学中の孫同様の児童との会話が、一番楽しいそうです。



朝のあいさつ運動。全学年の運動に発展



子どもたちが見せる笑顔。

その無邪気な笑顔の影には、ボランティアで活動を行う大人たちの姿があります。

「安全、安心、喜びといったものを、子どもたちに与えたい」という思いは、活動する大人たちが楽しみながらやっているからこそ、子どもたちに伝わっているのかもしれない。



開放された東小学校の体育館は  
子どもたちの遊び場に早変わり!



毎週木・土曜日、桂川東小学校の体育館には、大勢の子どもたちの笑顔と笑い声が溢れています。これは桂川「ひまわり」アンビシャス活動(代表本田輝美さん)として行われているものです。

委員の齊藤さんは、この活動を「子どもたちの居場所づくり」と位置づけ、子どもたちと一緒に楽しみながら活動を行っています。

毎週月曜日、桂川中学校の校門付近から聞こえる元気な声。もともと、このあいさつ運動の取り組みは、PTAや保護司会、補導員、教育委員会などの皆さんが始めた運動が、きっかけでした。

その運動が生徒たちの心を動かし、現在では全学年対象に2クラスずつ、一緒にあいさつ運動を展開しています。何十人もの生徒が発する笑顔の「おはようございます」の言葉は、朝を何倍も清々しいものへと変えてくれます。